

事業所名		放課後等デイサービスむすび		支援プログラム		作成日		令和7	年	2	月	27	日
法人（事業所）理念		子ども・保護者・支援者の笑顔を大切に、一人ひとりの個性を尊重しながら、安心と温かさに満ちた環境を築き、将来の自立に向けた支援を行う。											
支援方針		・子どもの「できる！」を増やす：子どもが自分で考え、選び、行動できるようにサポートします。やってみたい！という気持ちを大切に、自分でできることを増やしていきます。 ・失敗も大切な学び：うまくいかない経験も、成長のチャンス。試行錯誤しながら「できた！」を積み重ね、自信につなげます。 ・ひとりひとりの個性を大事にする：子どもによって得意なことも、成長のスピードも違います。それぞれのペースを尊重し、のびのびと成長できる環境を作ります。 ・社会とつながる経験を大切にする：地域の人と関わったり、実生活の中で学ぶ機会をつくり、社会の中での役割を理解できるようにします。											
営業時間		平日 9時30分から 18時30分まで 土・長期休業日 9時 00分から 18時 00分まで				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	○健康的に過ごし、身の回りのことを自分で行えるように支援する。 ・来所時の検温や健康状態の確認。 ・身辺自立に向けた練習（使った物の片付け、おやつ片付け、着替え、自分の物の管理、手洗い、トイレの使い方）。 ・おやつ作り。 ・スケジュールの確認と活動の切り替え。											
	運動・感覚	○体を動かす楽しさを感じながら、運動能力や感覚統合を促す。 ○五感を刺激し、感覚機能を高める。 ・校庭や公園での外遊び（自由遊び、散歩、ブランコ、滑り台、おにごっこ、リレーなど。） ・体育館での活動（ラジオ体操、スキップ、ボール遊び、ドッジボール、縄跳び、椅子取りゲームなど） ・工作、粘土遊びなどの製作活動、感覚遊び。											
	認知・行動	○空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげる。 ○自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促す。 ○自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行う。 ・予定表の活用、時間を決めた活動の実施、活動の切り替え。 ・自分の行動を振り返る。											
	言語コミュニケーション	○ことばの使い方や適切な表現を学び、円滑なコミュニケーションができるよう支援する。 ・SST（ふわふわ言葉、ちくちく言葉、声の大きさ、人との距離感） ・グループでの話し合い、感想や意見の発表。 ・絵本の読み聞かせ。 ・劇の発表。											
	人間関係社会性	○集団活動を通して、他者との関わり方や社会のルールを学ぶ。 ・小集団や大集団での集団活動。 ・散歩での交通ルールの学習、火事や地震の避難訓練、不審者対応訓練。 ・ロールプレイ、SST。											
家族支援		・お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う。 ・むすびだよりの発行、家族参加型のイベント実施。				移行支援		・移行先との調整、相談援助、連携、情報共有。 ・学校との連携では送迎の時や必要な場合は支援会議を開催し、学校やむすびの様子を共有する。					
地域支援・地域連携		・地域の施設との連携（消防署見学、警察署見学、工場見学、学習センターの利用など） ・学校や他事業所、相談支援支援事業所との連携、情報共有。				職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に職員の研修を実施する。					
主な行事等		お誕生日会、おやつ作り、消防署見学、警察署見学、工場見学、バス乗車体験、桃狩り、りんご狩り、運動会、お店屋さんごっこ、カラオケ、芋煮会、クリスマス会、節分、外食体験、買い物学習、お別れ会											